

板野中学校 同和教育だより

MY SKY 第4号

マイ・スカイ

2001年5月28日(毎月第2・第4火曜日きまぐれ)発行

\(\sim\sim\sim\)

発行者

編集・文責
剛吉成正士

◆「人間として認められたい」ハンセン病患者訴訟 原告勝訴!! 金さん、おめでとぅ!!

先週マイスカイを出したすぐ後の23日、タイトルの件について、国が裁判の結果を認め、
 控訴しないという速報が国内を駆け巡りました。それを私が知ったのは、学習会場にいると
 き、友人から送られてきたメールからでした。本当にうれしかったです。涙が出るくらい。

実は3年前、板野中学校では、全国に15ヶ所あるハンセン病療養所の一つの岡山県愛
 生園から、金さんという方に全校生徒にお話に来てもらったことがありました。私自身、ハ
 ンセン病について詳しく調べたしたのは、それくらいからでした。(ちょうどその頃上映され

た「もののけ姫」にも出ていま
 した)その後家族三人でお邪魔
 したこともありまして。子ども
 をすごく可愛がってくれ、みんな
 が抱っこしてくれたのを、今
 でもよく覚えています。しかし
 その時に聞いたハンセン病患者
 に対する差別のひどさは、我が
 耳を疑うようなものでした。
 金さんは、「日本における三大
 差別は『ハンセン病に対する差
 別』『在日韓国・朝鮮人に対する
 差別』そして『部落差別』
 だ」と言っていました。しかし
 今回の国の判断で、その一つが
 解決のスタートラインに立った
 ように思えます。

NHKでは、右のように30
 ・31日に特集番組を放送する
 ようです。2～4ページには、
 新聞各社の記事を書きました。

NHKが「ハンセン病特集」30・31日
 国際的にハンセン病患者を続けたのか、さまざま
 者の外来治療が進む中、な資料や証言からハンセ
 なせ日本だけが隔離政策ン病政策をめぐる戦後史
 が数多く見つかった。

審理の過程で、これまで
 知られていなかった物証
 があり、二年半に及ぶ裁判の
 判決で「違憲」と判断さ
 れ、ハンセン病患者は、法
 廃止後は、今月十一日の
 「らい予防法」(九六年
 廃止)は、今月十一日の
 強制された患者らは、法
 廃止後も社会復帰がで
 きず、家族たちも含めた
 困難な状況は続いている。
 その実態を、患者ら
 の壮絶な証言から浮き彫
 りにする。

隔離政策の実態検証



「ETV2001 ハ
 ンセン病患者はなぜ隔
 離されたのか」の一場
 面。ある療養所の図書
 館にあった資料

のやみに光を当てる「E
 TV2001 ハンセン
 病患者はなぜ隔離され
 たのか」が、三十日からN
 HK教育で放送される。
 二夜連続。

第一夜は「孤立した患
 者家族たち」。隔離政策
 のために、家族と面会も
 許されず、堕胎、断種を
 強制された患者らは、法
 廃止後も社会復帰がで
 きず、家族たちも含めた
 困難な状況は続いている。
 その実態を、患者ら
 の壮絶な証言から浮き彫
 りにする。

